

パプア・ビアク島で遭遇した 大東亜戦争の痕跡

—泉靖—の足跡を訪ねて



講師：チョン・ギョンス(全京秀)氏

(ソウル大学校名誉教授・中国貴州大学特聘教授)

要旨：韓国人類学の歴史を調べ始めると、それが日本人類学史の一部に組み入れられていることを知り、日本人類学史の研究を始めた。その過程で名を大きく残した方が、泉靖一(1915-1970)という文化人類学者である。彼の足跡を求めて資料を探ると、ニューギニア島の北に位置するビアク島で人類学的作業を行ったということを知るに至った。大東亜戦争の最中、ビアク島で泉が残した人類学的軌跡を辿る。

2018年 7月14日

土

東洋大学白山キャンパス4号館
(4B11、4号館地下1階)

14～17時(受付開始:13時30)

※参加費 500円

お問合せ：matsu1@toyo.jp (松本)

主催：島嶼コミュニティ学会
事務局：福島県立医科大学立柳研究室
〒960-1295 福島市光が丘1番地